

令和5（2023）年度

地域学校協働活動推進員養成研修②実施報告

実施日：令和5（2023）年7月12日（水）

本研修は、地域学校協働活動推進員としての資質向上を目的として、全5回の内容で実施されます。2回目の今回は、講師に一般社団法人エス・プレイス代表理事の井上尚子氏をお迎えし、学校と地域をコーディネートするスキルを高めることをねらいとした講話・演習を行いました。

講話・演習「コーディネートする質を高めるために ～地域・学校のベクトルを揃えよう！～」

一般社団法人エス・プレイス
代表理事 井上 尚子 氏

井上氏は、東京都杉並区で地域と学校の連携・協働の学びをサポートする活動に取り組んでおり、これまでに様々な実践を行ってきました。受講者は、学校と協働しながら子どもたちの学びの充実に携わる井上氏の豊かな経験に裏打ちされた講話に熱心に耳を傾けるとともに、演習として実施されたグループワークにも意欲的に取り組みました。



講話では、地域学校協働活動推進員（以下『推進員』）の役割や必要性、コーディネートを行う上でのポイントなどが示されました。また、推進員として「知っておいたほうがいいこと」として、『学校を知ること』との説明がありました。学校が地域の力を必要としている理由、子どもたちの学習の内容や方法・形態の実際を知ることで、学校との協働活動を行う上での留意点が明確になることを確認しました。加えて、ある学校の推進員の学校教育活動（小学2年生の生活科）に関わる様子が紹介され、活動実施までに必要なコーディネートの流れや、学校側との活動に関わる情報共有、打合せをどのように実施するか等についての情報提供がありました。

また、演習として、実際に起こり得る状況を想定し、推進員としてどう対応するかを考えるワークと、学校の授業として行うことを想定した活動の概要を作成し、説明するワークを行いました。

どのワークでも、和やかな雰囲気の中で、示された課題について活発な協議が行われました。受講者はコーディネーターとしての経験や、研修での学びを生かしながら課題に取り組みました。

このワークを通して、コーディネーター同士の情報交換や、活動上の悩みの共有などが行われ、つながりづくりが進めることができた様子でした。あと3回の研修が行われますが、学び合いを通じたつながりづくりを更に進めていただきたいと思います。



【受講者の感想から】

- コーディネーターの立場や、できることが確認でき、今後学ぶべきことも知ることができました。
- ボランティア人材の確保に関する相談が可能な団体について知ることができたので、今後活用したいです。
- いろいろな方々の活動のアイデアを聞くことができ、勉強になりました。
- 地域と学校の連携をよりスムーズにするために地域のネットワークの輪を広げ、活動が広く知られるよう周知・情報共有していきたいです。
- 学校を知ることや、地域の教育支援ネットワーク等を知ることが大事だと思いました。
- 学習指導要領に目を通し、今後の活動の在り方を考えたいです。
- いろいろなネットワークをうまく活用していきたいです。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp